

サプライチェーンにおける排出削減量の見える化推進事業

149百万円（29百万円）

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の必要性、概要

我が国の温室効果ガス排出量の効率的な削減を進めるためには、物流・製造・使用・廃棄などサプライチェーン全体で排出量を把握し、少ない投資で大きな削減効果を得られるような手法を検討することが重要である。また、温室効果ガス排出量の削減に貢献する企業が社会から適切な評価を受けられるような仕組み作りを検討する必要がある。

現在、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく算定・報告・公表制度においては自らの事業活動に伴う排出量が報告対象となっているため、サプライチェーン全体を通じた排出削減量の評価が困難な制度となっている。

そこで、本事業では、サプライチェーンの各段階における排出削減量の可視化を通じて、効率的な排出量の削減手法及び評価手法を確立するとともに、排出削減に貢献した企業が公平に評価される仕組みを構築し、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出削減に向けた企業のインセンティブを高めることを目指す。

2. 事業計画（業務内容）

複数の企業を選定し、サプライチェーンにおける排出削減量を算定することによって、物流段階、使用段階、廃棄物段階などサプライチェーンの各段階における排出削減量の見える化を図り、効率的な削減手法の確立を図る。また、サプライチェーン排出削減量算定ガイドラインを作成するとともに、算定方法の精緻化や精度の向上を図る。加えて、排出削減量の見える化ツールの開発・運用を行うとともに、サプライチェーン排出量の削減に係る普及啓発を行う。

3. 施策の効果

サプライチェーン全体での温室効果ガス排出削減量の可視化を図り、温室効果ガスの排出削減に貢献した企業が市場で適切に評価される仕組みを作ることにより、我が国の温室効果ガス排出量を削減する。

サプライチェーンにおける排出削減量の見える化推進事業

< 目的 >

サプライチェーン全体を通じた温室効果ガス排出削減量の**可視化(見える化)**により、効率的な排出量の削減手法及び評価手法を確立し、排出削減に貢献した企業が公平な評価を受けられる仕組みを構築することを通じ、**我が国の温室効果ガス排出量を削減**する。

< 事業内容 >

削減手法評価
事業

削減量算定ガイド
ライン作成等

排出削減量見える化
ツールの開発

排出量の削減に
係る普及啓発

サプライチェーン全体での排出量削減

